

第4回刃物検定 はもけん 解答&解説文

【問題1 答え】 ① 刃物供養祭

全国的に「ふいご祭り」が行われていることと「イハ」の語呂合わせがよいことから11月8日は「刃物の日」として、日本記念日協会に登録されています。毎年11月8日には使い古されて捨てられる刃物に、感謝の意を込めて手厚く供養する「刃物供養祭」がとり行われています。供養された刃物は、大手鉄鋼メーカーのご協力により、新たな鋼材へとリサイクルされています。

【問題2 答え】 ③ 刀剣女子

刀剣女子とは、俗に日本刀に夢中になる女性を意味し、単に日本刀を鑑賞するだけにとどまらず、模造刀などを購入する女性も増えています。

【問題3 答え】 ④ ゴーリンゲン(ドイツ)

ソーリンゲン(Solingen)は、ドイツ西部にある工業都市です。中世より刃物の産地として栄え、現在も刃物類の製造において世界的に知られています。

【問題4 答え】 ③ 元重

今から780有餘年前、鎌倉時代末期に九州の住人といわれている元重が関へ移り住み、初めて関で日本刀が作られました。以来「折れず、曲がらず、よく切れる」という、刀にとって不可欠の要素を追求してきた関の刀剣は、後に「美濃(関)伝」と呼ばれるようになり、戦乱期の室町時代中期から末期にかけて大いに隆盛を極め、数多くの名工を輩出しました。平成28年、元重の銘が刻まれた太刀が見つかり、関鍛冶伝承館で一般公開されるなど話題となりました。

【問題5 答え】 ③ 八板金兵衛清定

八板金兵衛清定は美濃国関の鍛冶職人で、後に種子島に移り住み、国内初の国産鉄砲を製造したといわれています。今年、第50回刃物まつり記念事業として、関鍛冶伝承館で鉄砲伝来展が開催されています。(8/30～9/25)

【問題6 答え】 ③ 旧関市文化会館

第1回刃物まつりは、昭和43年10月12日(土)、13日(日)の両日、旧関市文化会館(平和通7丁目、現在の「アピセ・関」隣)にて、関市刃物まつり協賛会、関市、関商工会議所の主催により行われました。

【問題7 答え】 ② 第20回

今年掘り起こされたタイムカプセルは、昭和62年に第20回刃物まつり開催を記念して関鍛冶伝承館の刃物塚前に埋められたものです。タイムカプセルは、直径60cm、高さ45cmの球形で、中には当時出店していた廉売市の目玉商品などが入っていました。

【問題8 答え】 ④ 三本杉

刃文は、焼き入れの効果によって刀身に現れる模様のことをいいます。直線的な直刃(すぐは)と、波打ったようにみえる乱刃(みだれば)に大別され、乱刃の中に丁子(ちょうじ)、湾れ(のたれ)などの種類があります。三本杉の刃文は、室町時代に活躍し、孫六と呼ばれた二代兼元の刀の特徴です。

【問題9 答え】 ③ 相州(神奈川)

五箇伝は美濃(関)、大和(奈良)、山城(京都)、備前(岡山)、相州(神奈川)を指し、姿、地鉄(じがね)、刃文などにそれぞれ特徴があります。今年、関鍛冶伝承館では、五箇伝の名刀を集めた企画展が行われています。(7/22～9/25)

【問題10 答え】 ① ポケットナイフ

明治19年、関の刃物卸商佐藤久八が東京の湯浅七左右衛門商店から、外国製ポケットナイフの見本を入手し、同じく関で刃物卸商を営み、関鉄物商組合(現岐阜県利器工匠具協同組合)初代総代である福地廣右衛門に、ポケットナイフの製造を委託しました。福地は、真鍮板や唐木(輸入材)などを使った側板で、国産初のポケットナイフの加工に挑戦し、明治21年に日本刀の製作技術を活用した製品として成功しました。

【問題11 答え】 ② 室町時代

関鍛冶は、室町時代の中期から末期にかけて全盛期をおかえました。関の刀は「折れず、曲がらず、よく切れる」と全国で評判になり、戦国時代の武士に愛用されました。

【問題12 答え】 ③ 6cm

銃刀法第22条は、「何人も、業務その他正当な理由による場合を除いては、内閣府令で定めるところにより計った刃体の長さが6センチメートルをこえる刃物を携帯してはならない。」と規定しています。

【問題13 答え】 ④ 大阪府

平成26年工業統計調査結果によると、ハサミ(理髪用を除く)の出荷額全国シェアを高い順に並べると、岐阜県、大阪府、新潟県、兵庫県、埼玉県となっています。

【問題14 答え】 ① 理髪用刃物(カミソリ、ハサミ等)

平成26年工業統計調査結果によると、包丁、ナイフ類、ハサミ(理髪用を除く)、その他の利器工匠具(ツメキリ、缶切、栓抜等)も刃物出荷額の全国シェアの多くを占めていますが、特に、理髪用刃物(カミソリ、ハサミ等)については、全国の約75%を占める出荷額を誇っています。

【問題15 答え】 ① 約370億円

平成26年工業統計調査結果によると、全体の出荷額約3320億円のうち、金属関係が約1700億円でいちばん多く、金属以外が約1250億円、刃物関係は約370億円となっています。

【問題16 答え】 ② アメリカ合衆国、中華人民共和国、サウジアラビア、ドイツ

平成27年の刃物輸出全体における仕向地別輸出額の構成比は、アメリカ合衆国が34.5%、中華人民共和国が6.9%、サウジアラビアが6.7%、ドイツが6.1%となっています。

【問題17 答え】 ④ 四方詰め

美濃伝と呼ばれた関の刀は、「四方詰め」という新しい製法を生み出しました。柔らかい芯鉄(しながね)の四方を、硬い鉄や靱性のある刃鉄(はがね)で固めることで、従来よりも硬さと粘りを併せ持った強い構造となりました。

【問題18 答え】 ③ 肉、魚、野菜

三徳包丁は野菜を切るほか、肉や魚にも使用できる便利な万能タイプの包丁をいいます。菜切包丁、牛刀と出刃包丁の良さを兼ね備えています。

【問題19 答え】 ② 焼きが回る

焼き入れをする際に、火が回りすぎるとかえって切れ味が悪くなることから転じて、年をとるなどして頭の働きや腕前などの能力が衰えて鈍くなることをいいます。

【問題20 答え】 ③ A. 折り返し鍛錬 B. 素延べ C. 土置き・土取り D. 焼き入れ

日本刀ができるまでの主な製造工程は、砂鉄と炭を熱してできた玉鋼が材料となり、まずその玉鋼のうち同質鋼板のものを約1300度程度で加熱(積み沸し)し、大槌でたたいては折り返す作業を繰り返します。次に、様々なかたさの鋼を組み合わせて固め(造込み)、熱して小槌でたたいて刀の形に伸ばします(素延べ)。素延べしたものを熱し、刃と峰になる部分の形を打ち出す火造りを経て、ヤスリやせんで荒仕上げし、焼刃土を刀に塗って刃文を作る土置き・土取りを行います。その後、焼き入れ(加熱後、急冷する)を行い、刀匠自らが荒研ぎをした後、茎(なかご)を仕立てて次の技能師に渡します。

【問題21 答え】 ① 刃を下にして腰に吊るす

太刀は刃を下にして腰に吊るし、刀は刃を上にして帯に差します。

大相撲の横綱の土俵入りでは、「太刀持ち」が登場しますが、今年3月、第72代横綱稀勢の里の土俵入りの太刀を関市の刀匠が制作して納めたことが話題となりました。

【問題22 答え】 ① マルテンサイト系ステンレス

13%クロム鋼はマルテンサイト系ステンレス(クロム系)と呼ばれ、焼き入れ後の硬さが高いステンレス鋼材です。刃物やノズル、バルブなどに使われます。

【問題23 答え】 ② Mo(モリブデン)

切れ味・耐摩耗性をより高めるために、モリブデンやバナジウムなどが添加されます。

【問題24 答え】 ① 「飾り切り包丁」を用いる切り方である

魚や肉などに切り込みを入れることを飾り切り包丁といい、「飾り切り包丁」という名前の包丁はありません。

【問題25 答え】 ④ ミクロトーム

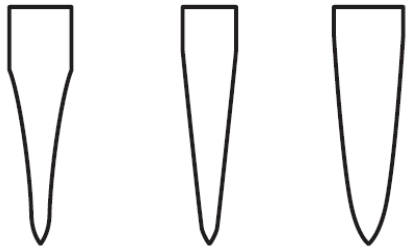
国産のカミソリ(替刃)の生産は、全国で関市が中心となっています。医療用の刃物も開発・生産されています。

【問題26 答え】 ② 凹み

問題のイラストのように刃の裏を凹ませることを「裏すき」といいます。「裏すき」は、刃物を研ぐときに、刃裏の平面を保ちやすく、刃先を鋭く仕上げ、さらに、「てこの原理」による作用点に力を集中させるためのものです。

【問題27 答え】 ④ ホローグラインド

ブレードの断面形状のことをグラインドといい、形状によって呼び名が異なります。下図の形状は、左からホローグラインド、フラットグラインド、コンベックスグラインドといいます。



【問題28 答え】 ① かんな

鉋は大工道具のひとつで、主に木材の表面を削って、きれいになめらかにするための道具です。

【問題29 答え】 ④ 剪定ばさみ

最初、果樹の剪定用はさみとしてヨーロッパから紹介され、切れ味がよいうえに太めの枝も切れることから、庭木や盆栽などの剪定に広く用いられるようになりました。

【問題30 答え】 ③ 赤羽刀

赤羽刀(あかばねとう)は、保管されていた米軍施設が東京都北区赤羽にあったことからそう呼ばれるようになりました。関市は、平成11年に文化庁より赤羽刀480本の譲受を受けましたが、さびがあるなど修復が必要な状態であったため、歴史的・美術的に価値があると認められるものを修復しています。

【問題31 答え】 ② 教育委員会

日本刀には一本一本「登録証」が必要です。銃刀法第14条、第15条によると、「教育委員会」が登録をし、登録証を交付すると規定しています。

【問題32 答え】 ② 明治9年

帯刀禁止令(廃刀令)により士族の帯刀が禁止され、刀剣の生産は衰退の一途をたどります。平和な世の中が続いた江戸時代に刀剣需要が落ち込み、小刀や剃刀などの家庭用刃物や鋤(すき)や鍬(くわ)などの農業用道具の鍛冶屋へ転向するものが増えていたため、それほどの影響はなかったという説もあります。

【問題33 答え】 ④ 海外デザイン会社とコラボした「本関刀」

「ミラノ・サローネ」で展示された「本関刀」は、来場者から称賛を浴び、世界各国のコレクターをターゲットに、受注生産で10振りを限定販売することになり、注目を集めています。

【問題34 答え】 ① 天明・寛政(江戸時代後期)頃から廃刀令(明治時代)まで

平安時代後期から安土桃山時代の文禄頃までを古刀、江戸時代の慶長頃から安永頃までを新刀といい、一般に明治時代の廃刀令以降のものを現代刀といいます。

【問題35 答え】 ① A

つめ切りの刃の合わせは、B の様に刃と刃がまともに当たるようでは刃が欠けたり摩耗が早く、すぐ切れなくなってしまいます。C の場合は、刃と刃の隙が空きすぎているので切り口がザラザラになります。A の様にかすかに空いているのが最適です。

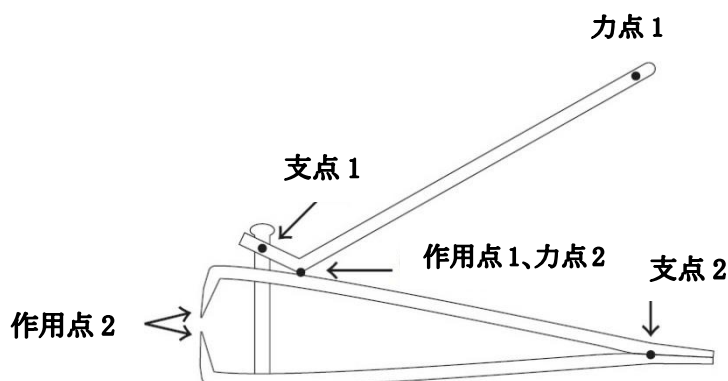
【問題36 答え】 ② ローマ型

はさみは大きく2種類あり、X字形のはさみはローマ型と呼ばれ、最も古いものは帝政ローマ時代(紀元前27年)の鉄製のはさみが出土しています。一方、真ん中をU字形に曲げて刃と刃を合わせたはさみはギリシア型と呼ばれ、紀元前1000年頃のギリシア時代に羊毛を刈るために使われていたといわれています。

【問題37 答え】 ③ 薙刀

神様のお告げにより魔物を退治することができ、村が天下泰平となったことに感謝の意を込めて、毎年春祭りに「童子夜行」を演題とした古典神事芸能が奉納され、春日神社が創設された頃より続いています。その二番立では、薙刀と白扇を使い、ばね仕掛けのように破魔舞を演じ、悪魔払いと地がためをする薙刀振りが行われます。

【問題38 答え】 ② ②と③は支点である



【問題39 答え】 ① フォールディングナイフ

折りたたんで持つところに格納するタイプはフォールディングナイフ、鞘に入れるタイプはシースナイフと呼ばれています。ブーツの中のシースに格納するタイプは、ブーツナイフです。

【問題40 答え】 ③ ハンドルを相手に向けて渡す

はさみを人に渡す時には、ハンドルを相手に向けて渡します。包丁も同様に、柄を相手に向けて渡します。刃物を人に渡す時には、相手が持ちやすいよう、危なくないように気をつけましょう。

【問題41 答え】 ② 大きい番号の砥石を使うと、研削効率はよくないが、細やかな表面になりやすい

砥石の番号は粗さを表しており、番号が大きくなるほど細かい粒度の材料で焼き固めるなどして作られています。小さい番号は粒度が粗く、研削効率はよいですが、仕上がりの表面は粗くなります。大きい番号は粒度が細かいため、研削効率は悪くなりますが、仕上がりは細やかな表面になります。

【問題42 答え】 ④ 薄刃包丁×大根

「かつらむき」は大根などを長めの輪切りにして、皮をむくように薄く長く帯状に切ることをいいます。薄刃包丁は、日本の伝統的な和包丁の一つで、刃が薄く、野菜を切る時に使います。

【問題43 答え】 ② 電工ナイフ

これは電気配線工事に携わる人が、電気コードのビニール被覆を削り取るために使っている電工ナイフです。刃は、適度な角度と厚みがあり、電線を傷つけない工夫がしてあります。

【問題44 答え】 ③ 野菜などをみじん切りにする

この刃物は「メツァルーナ(半月形チョッパー)」といい、まな板の上で肉や野菜をみじん切りにするために使います。一度使い方のコツをつかめば、材料を様々な大きさに手早く切り刻むことができます。

【問題45 答え】 ④ りんごの芯を抜く

この刃物は、先が尖った細長い半筒状の形をしており、りんごやなしの芯をくり抜くことができます。

【問題46 答え】 ④ フローリスト

フローリストナイフは、フラワーアレンジメントに欠かせないナイフです。花をはさみで切ると、茎がつぶれ、水を吸い上げる導管を塞いでしまいますが、このナイフを使えば、導管をつぶすことなくカットできるので、花がより長持ちします。フローリストナイフで花の茎を切る場合は、ナイフは動かさず、リンゴの皮むきの要領で、反りの内側にある刃を当てた茎を動かすように切ります。

【問題47 答え】 ① 小さい魚をさばいて開く

イワシなどの小魚を開くときに便利な小魚用包丁です。ナイフ部で腹を開き、リング部ではらわたを引き出します。リングについているギザ刃は、ウロコ取りに使えます。

【問題48 答え】 ② 鉄道の切符を切るとき

改札鋏(かいさつきょう)は、電車の改札口で入場する際に切符に使用済みであることを示す印を入れるための道具です。改札鋏で開ける穴は、三角や四角、丸型など全国津々浦々、実に100種類以上もの形があります。しかし、1990年代以降、自動改札機の導入などに伴い、改札スタンプへの変更が進み、現在では改札鋏はあまり使われなくなりました。「パチンパチン」という改札鋏の音が懐かしく思われる方も多いのではないのでしょうか。

【問題49 答え】 ④

①は冷凍包丁、②はカステラ包丁、③は皮剥ぎ包丁です。和紙裁ち包丁は、和紙の四方を断裁し、続いて規格の寸法に断裁します。和紙を何枚にも重ね、定規に当て柄を持ち前後に押し切ります。そのため刃は片刃で丸くカーブしています。

【問題50 答え】 ② 生卵をかき混ぜるとき

この刃物は、生卵をかき混ぜるときに使います。先端に刃がついており、白身と黄身を同時に切りながらかき混ぜることで、素早く滑らかに生卵を混ぜ合わせることができます。